

## V 地域社会への貢献

農場では、地域住民を対象とした市民農業講座を開催するとともに、農業技術研究会を立ち上げて、農場で開発した技術の移転を進めている。また、幼稚園児、小学生を対象とした食育に取り組み、さらに地域住民に施設を開放し、また農場実習の副産物を定期的に販売するなど、様々な形で市民との交流を図っている。

### 1 農業技術の啓発

#### 1) 市民公開講座

##### 学内農場

開催日：9月26日，10月6日，10月18日，11月1日，11月15日 10時～11時（14名）

講座名：「野菜作り教室」

講師：朴 炳宰，野村哲也，中野八伯，濱田延枝

##### 唐湊果樹園

開催日：7月12日 13時～15時（20名）

講座名：果実を身近に感じてみませんか「ブルーベリーの収穫体験」

講師：朴 炳宰，川口昭二，福留弘康，廣瀬 潤，西澤 優

##### 指宿植物試験場

開催日：8月24日 10時～12時（11名）

講座名：「熱帯果実を鉢栽培で楽しもう」

講師：朴 炳宰，谷村音樹，田浦一成，勘米良祥多

#### 2) 熱帯果樹・果実栽培にかかる技術指導（指宿植物試験場）

対象者：指宿熱帯果樹研究会，指宿熱帯果実振興会（13名）

開催日：4月12日，6月11日，9月10日，9月5日，11月15日，平成29年3月18日，3月21日

#### 3) 九州大学高原農業実験実習場研修（入来牧場）

対象：九州大学高原農業実験実習場 技術職員（1名）

時期：6月22日～24日

内容：家畜飼養管理や繁殖管理などについての研修

#### 4) 鹿児島県立農業大学校校外研修（指宿植物試験場）

対象：鹿児島県立農業大学校果樹科学生（6名）

時期：7月20日

内容：熱帯果樹類の栽培管理などについての研修

#### 5) タイ王国メジョー大学研修（指宿植物試験場）

対象：タイ王国メジョー大学4年生（2名）

時期：12月3日～17日

内容：学術交流協定に基づき人材育成事業に伴い，指宿を中心とした南薩地域の視察研修

#### 6) 雲南農業大学（指宿植物試験場）

対象：雲南農業大学学生（15名）

時期：12月8日

内容：農場内の視察研修

#### 7) JICA研修（唐湊果樹園）

対象：JICA研修生（3名）

時期：2月2日，2月21日～23日

内容：JICAの「プータン中西部地域園芸農業振興プロジェクト」における，果樹園芸学および農場実習における技術研修

8) JICA研修(学内農場農事部)

対象: JICA研修生(3名)

時期: 2月3日

内容: JICAの「ブータン中西部地域園芸農業振興プロジェクト」における、熱帯果樹について研修

2 地域活動に対する支援

1) 八重山高原星物語2016(入来牧場)

対象: 一般市民

開催日: 8月7日(土) 12:00~20:00

内容: 八重山高原星物語実行委員会主催の薩摩川内市の観光復興と地域活性化を目的に国立天文台、鹿児島大学理学部・農学部をはじめNPOや地元関係者の協働による、「宇宙と自然環境イベント」を開催することにより、宇宙や科学、自然環境への興味や関心を深める。

3 食育と環境教育の取り組み

子供達の食の乱れの是正や自然への渴望を満たすために、技術職員を中心に下記のような食育の取り組みをしている。

1) お芋ができるまで(学内農場農事部)

対象: めぐみ幼稚園, 園児65名, 教師9名

時期: 5月: 芋の苗植え, 10月: 芋掘り

内容: 自然とかけ離れた環境で育った園児に、土にまみれてサツマイモを育てることを介して、自然と食に興味を持つようにする。5月にサツマイモの苗植え, 10月に収穫を行った。

2) お米ができるまで(学内農場農事部)

対象: 鹿児島市立八幡小学校, 児童128名, 教師5名

時期: 6月~3月 田植えから精米まで

内容: 総合的な学習の時間に田植えから精米までの課程の見学と体験活動を行った。

3) 職場体験学習

学内農場農事部

対象: 中学生9名

時期: 5月10日~12日, 11月1日~2日

内容: 職場体験学習を通して、農業の内容を知るとともに、働くことの意義や勤労の貴さを実感する。また、養液栽培管理やタマネギ定植を通して農業について知り、食への関心を高める。

唐湊果樹園

対象: 中学生4名

時期: 11月1日~2日

内容: 職場体験学習を通して、農業の内容を知るとともに、働くことの意義や勤労の貴さを実感する。また、果樹の収穫や敷草などの作業を通して食への関心を高める。

入来牧場

対象: 中学生1名

時期: 5月16日~20日

内容: 職場体験学習を通して働くことの意義や自己の職業に対する意識を高め、今後の学校生活において望ましい「職業観」や「勤労観」をもち、意欲的に学習できるようにする。

4) 未就学児牧場体験(入来牧場)

対象: 未就学児を持つ地域ママさんサークル(31名)

時期: 8月2日

内容: 地域の未就学児を持つママさんサークルからの申込みにより、自然や動物に触れ合う情操教育の一環として、未就学児の牛の餌やり体験を実施した。

5) 入来牧場牛肉フェア実行委員会牧場体験（入来牧場）

対象：鹿児島大学学生（入来フェア実行委員）（10名）

時期：9月12日～13日

内容：入来牧場フェアに向けての学生の食育の意識を牧場体験によって培い、体験したことを持ち帰り周りの学生に食育ということを共有した。

6) ミカンのふるさと（唐湊果樹園）

対象：鹿児島大学教育学部附属幼稚園（園児78名）

時期：11月1日

内容：みかん狩りをして、収穫の喜びを感じると同時に、育てている方々への感謝の気持ちを持つ。また、野山の様子を見たり、草花や虫と触れ合ったりして、秋の自然に親しむ。

7) 入来牧場牛肉フェア

対象：地域住民および鹿児島大学教職員

時期：11月26日～28日

内容：学部横断的食育の啓発、地域住民への入来牧場広報などを目的として、鹿児島大学生協と共同で喫茶イベントおよび牛肉販売を行った。喫茶イベントでは鹿児島大学生協学生委員会のメンバーによるメニュー考案を行い、学生間での食育啓発気運の高まりを促進した。

4 施設の公開

周辺住民の散策場所として、農場を常時開放するとともに、自治体や団体等などが開催するイベントに対して、要請があれば積極的に施設の開放を行っている。

1) 農場へようこそ（学内農場農事部、唐湊果樹園）

対象：一般市民

時期：随時

内容：鹿児島市内に位置する学内農場農事部と唐湊果樹園は、農場見学、俳句読み、植物採集、写真撮影、散策など、都市に浮かぶオアシスとして市民の人気スポットである。農場としては、癒しの空間として農場を整備し、市民に開放するとともに、来場者に対して農場施設の役割を啓発する。

5 生産物の販売

学生実習に伴って算出される農産物の有効利用を図る観点から、生産物の展示即売会を下記のような日程で開催している。

1) 農場4施設合同の展示即売会

対象：一般市民約3,100名

時期：4月2日（土）9時～15時

場所：学内農場の一角にテント張りの特設会場を設営して開催

内容：実習で生産した米、野菜、苗物、花卉、観葉植物、果物、牛肉など約160品目25,000点を農場職員と学生が一体となって開催する展示販売会を行った。

2) 農場4施設合同の定期販売会

対象：一般市民

時期：毎月、第2週と第4週の水曜日の昼休み時に開催

場所：学内農場販売所

内容：実習で生産した米、野菜、苗物、花卉、観葉植物、果物などを販売した。

3) 施設毎の定期即売会

(1) 唐湊果樹園

対象：一般市民

時期：毎月、第1週と第3週の水曜日の昼休み時に開催

場所：唐湊果樹園

内容：実習で生産した果物を販売した。

(2) 指宿植物試験場

対象：一般市民

時期：毎週月曜日の昼休み時に開催

場所：指宿植物試験場

内容：実習で生産した熱帯果実，観葉植物などを販売した。

4) インフォメーションセンターでの販売

対象：一般市民

時期：生産物を出荷できる日に実施

場所：インフォメーションセンター（郡元キャンパス鹿児島大学正門横）

内容：実習で生産した米，野菜，苗物，花卉，観葉植物，果物などを販売した。